



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 2月号
平成31年2月1日
校長 西田 素子

子どもたちの成長した姿をご覧ください

昔から「1月は往ぬ、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、3学期は特に時間が過ぎるのを早く感じます。今年度も残り2か月となりました。その間に新しい学年になるための準備をしっかり行い、積み残しのないように学年を締めくくりたいものです。



さて、2月は土曜参観・6年生を送る会と保護者や地域の皆様に、子どもたちの様子を見ていただく機会があります。この1年で成長した姿を是非ご覧ください。また学校では、児童玄関に設置した大型テレビで、普段の子ども達の様子や全校への呼びかけをスライドショーで流していますので、ご来校の際にご覧いただけたらと思います。



【2月の目標】

学習：「正しい姿勢で学習する」「もう一度言えるように聴く」

→「せなかピン、おなかゲー、あしペタン」の合言葉を使い、継続的に指導していきます。ご家庭で書いたり読んだりしている時にも、目とノートや本との距離が近くなっていませんか。

生活：「進んであいさつしよう」「みんなで協力しよう」

→6年生を送る会にむけて準備や練習を進める時期、クラスや学年で「協力できた！」と実感できるチャンスがたくさんあります。各クラスで目標を設定し、毎日のふり返りで意識していきます。

向上心を高く持ち、次の学年へ ～心の鬼退治～



「鬼は外、福は内！」節分とは、季節の分かれ目をさし、もともとは立春や立夏・立秋・立冬の前日を言いましたが、今では豆まきの風習が残っている2月の立春の前だけを言うようになりました。この豆まきは、季節の変わり目には邪気が入りやすいとされていたので、それを追い払うために行われる習わしです。また、幸運を招くために、自分の年より1つ多く大豆を食べたり、恵方に向けて太巻きをまるかじりしたりする風習もあります。

本日は集会で、子どもたちに「心の中にある鬼を退治しよう」という話をしました。私たちの心の中には、誰にでも弱い部分があります。例えば、やらなければと分かっているけど「今でなくても良いだろう。次にしよう」「この程度でやめておこう」と怠けてしまったり、諦めてしまったりする弱さ、「他の人もしているから」「おもしろそうだから」という気持ちを優先してふざけてしまったり、ちょっと友達に意地悪してしまったりする弱さです。皆さんの心の中に、このようななまけ鬼、あきらめ鬼、ふざけ鬼、いじわる鬼はいませんか？と問いました。

このような心の鬼を追い出す強い心の例として「向上心」を紹介しました。より優れたものを目指して努力しようとする「向上心」を高くもっていれば、努力を惜しまず、粘り強く、前向きにいろいろなことに取り組んだり、チャレンジしたりできるのではないのでしょうか。「向上心」の源となるものは、理想とする姿の具体的なイメージではないかと思います。そのためにも、上の学年の姿から学び、それぞれが下の学年のお手本になる行動を心がけ、学校全体で高め合う雰囲気をつくっていききたいです。

7月と10月につづき、2月も「ノートの日：校長バージョン」を実施します。

2月12日の「ノートの日」の後、ノートの決まりを守っているか、学びの足跡が残っているか、見せてもらいます。全校の算数ノートを点検しますが、ご家庭では、是非他のノートもご覧ください。